

1 単元名 器械運動（マット運動）

2 目標

- 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。
(運動への関心・意欲・態度)
- 基本的な技の練習の仕方を知り、自分の力に合った練習方法や練習の場を工夫できるようにする。
(運動についての思考・判断)
- 基本的な回転技や倒立技をすることができる。
(運動の技能)

3 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、体育の時間が好きな児童が多いが、マット運動となると好きではない児童が多くなっていく。主な理由は、特に男子の「できない」「苦手」が多い。また、「できた」と思っているにもかかわらずできていないことが多く、「できた」「できない」という判断力と、どんな練習していけばできるようになるという知識が備わっていない。

(2) 小中一貫教育の授業づくり

「学びの連続性」を意識し、2年毎に示されている内容を1年毎に詳細化する。第3学年及び第4学年で例示されている基本の技4つと発展技を7つを2学年で行うのではなく、第3学年で基本の技4つを確実にできるようにし、第4学年で発展技7つを行うようにした。指導内容の体系化を図ることによって、小学校高学年さらには、中学校に技能の未定着がないようにつなげていく。

(3) 指導にあたって

苦手な児童は、マット運動の特性に触れることができず、嫌う傾向にある。運動に親しむ資質・能力を育むためには、「できる」喜びを味わえるように学習を進めていく必要がある。

そこで、第3学年で身に付けさせたい内容(技)を基本的な技4つに絞って練習していく。また、学習形態を集団(小グループ)にし、アドバイスや補助をしたり、学習カードを活用したりしながら、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図れるようにしたい。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
学習活動における具体的な評価規準	①練習に進んで取り組みようとする。 ◎根気強く、繰り返し ②◎自ら進んで仲間にアドバイスしたり補助したりしようとする。 ③器具や補助具など、身の回りの安全に◎常に気を付けようとする。	①学習カードを基に、自分に合った練習を工夫している。 ◎観察した情報 ②学習カードを活用してアドバイスしたり補助したりしている。 ◎観察した情報	①自分の力に合った基本的な回転技や倒立技が◎安定してできる。 ②自分の力にあった発展技が◎安定してできる。

◎は十分満足できる状況

5 指導と評価計画（5時間扱い）

	学習のねらい・活動	評価計画		
		関	思	技
はじめ 1時間	◎運動の特性や学習のねらい、計画、内容を理解する。 ◎マット運動の学習準備をする。 1 学習のねらいと道筋を理解し、学習の進め方について知る。 2 用具の扱い方と安全面の配慮の仕方について知る。 3 試しの運動をする。 4 グループングをする。	③		
なか 3時間	1 学習のねらいを確認する。 2 準備運動をする。 ◎基本的な技を習得しよう 3 基本的な技の練習をする。 ・回転技：前転、後転 ・倒立技：壁倒立、腕立て横跳び越し ↓ ※ 発展技の練習をする。(基本的な技ができた児童のみ) ・回転技：大きな前転、開脚前転、開脚後転 ・倒立技：補助倒立、頭倒立、ブリッジ、側方倒立回転 4 整理運動をする。 5 本時のまとめをする。		① ② ③	① ②

まとめ	○単元のまとめの発表会を楽しむ		
1時間	1 学習のねらいを確認する。 2 準備運動をする。 3 発表演技の練習をする。 4 発表会をする。 5 整理運動をする。 6 単元のまとめをする。	③	① ②

6 本時の学習

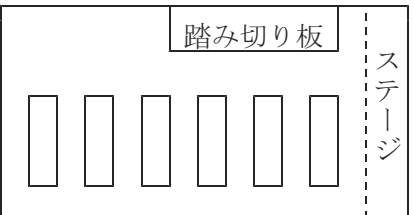
(1) 目標

- 仲間にアドバイスしたり，補助したりしようとする。 (運動への関心・意欲・態度)
- 学習カードを基に，自分に合った練習方法や練習の場を選んだりすることができるようにする。 (運動についての思考・判断)
- 自分の力に合った基本的な回転技や倒立技ができる。 (運動の技能)

(2) 準備・資料

マット，跳び箱，踏み切り板，学習カード

(3) 展開 (3/5)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点，方法
はじめ	1 整列，あいさつをする。 2 本時のねらいを知る。	・児童の健康観察をする。 ・本時の学習内容を説明する。	
	基本的な技（前転・後転・壁倒立・腕立て横跳び越し）を習得しよう。		
5分	3 準備運動をする。	・けがを防止するために，特に手首をよくほぐすようにする。	
なか	4 基本的な技の練習をする。 ※基本的な技ができた児童のみ発展技の練習をする。	・学習カードを見ながら，自分のできそうな技から取り寄せ，安定してできる技を作れるようにする。 ◇段階的に練習するように声をかけたり補助したりしながら，「できた」という達成感を味わいながら活動に取り組めるようにする。	<思考・判断①>・ 学習カードを基に，自分に合った練習をしている。 (学習時の観察) (カードの記述)
か	(1) 回転技 ・前転 → 大きな前転 ・後転 → 開脚前転 開脚後転 (2) 倒立技 ・壁倒立 → 補助倒立 ・腕立て → 頭倒立 横跳び越し → ブリッジ 側方倒立回転 【場の設定】 ※踏み切り板は必要に応じて準備	・補助する時は，演技者の足に気を付けるように声をかけ，けがの防止に努める。 ・基本の技が安定してできるようになった児童には，発展技を紹介し，意欲が低下しないようにする。 ・順番を待っている間は，励まし，アドバイスをすると共に，上手にできている児童の観察をし，技のポイントに気付けるようにする。	<関・意・態②>・ 仲間にアドバイスしたり，補助したりしようとする。 (学習時の観察)
35分			<運動の技能①>・ 自分の力に合った基本的な回転技や倒立技ができる。 (学習時の観察)
まとめ	5 整理運動をする。 6 学習活動の反省と次時の課題を確認する。	・児童の健康観察をする。 ・学習カードをもとに本時の振り返りをさせる。 ・本時のまとめをする。	

◇は努力を要する状況にある児童への手立て